

## 身体的な発達と自己との関わり

# 4月～6月



すいすいさんに進級し、とうとう一番上の学年になりました。すいすいさんだけの活動も始まり、その事が嬉しくて、誇らしくて、自信に満ち溢れる一方、まだまだ甘えたい気持ちや、最年長のプレッシャーを感じて気持ちが崩れてしまう姿も多く見られる時期でした。保育者も励ましながらあえて今まで以上に手を貸さないことで、自分で考えて、自分で行動する力が少しずつ育ちはじめて行きました。

すいすいさんだけのバス遠足では、自分達で行きたい場所のリクエストを出し、例えば小松川公園では着いた先での遊びやそのエリアも、自分達で考えて保育者に確認をとりながら決めていきました。そうすることで、少しずつ「自由」と「責任」、いわゆる主体的に行動する姿が育っていきました。ただ、まだまだ忘れ物も多かったり、見通しを持ちつつも「もっと遊びたい」「今行くのめんどくさいな。。」といった幼い姿も多い時期でした。先ほども書いたように、一番上のお兄さんお姉さんになった喜びや誇りと、その責任感やまだまだ甘えたい気持ちに心が揺れ動く、心も体も忙しい時期であったと思います。

6月にはコマを始めました。紐の巻き方、投げ方を教えてあげるも、最初はなかなか上手くいきません。何度も心折れながらも頑張る姿の末、回せるようになりました！そしてそこから、すいすいさんが先生となって下の子に教えてあげる姿が見られ始めました。自分ができるようになったことに加え、教えてあげる事で、好きな事への自信が更に深まっていたように思います。

